

2023年度 事業報告

2023年度事業報告

■事業部門

1. 学校教育に対する研究・助成事業

- [1] 実践研究助成
 - (1) 2023年度(第49回)実践研究助成 助成概要
 - (2) 贈呈式・スタートアップセミナー
 - (3) 実践研究支援活動
 - (4) 報告書評価(一般助成校)
 - (5) 成果事例の発信
 - (6) 2024年度(第50回)実践研究助成 募集・選考
- [2] プレゼンテーションコンクール
- [3] 共同研究

2. こころを育む総合フォーラム

- [1] フォーラムメンバー会議
- [2] 子どもたちの“こころを育む活動”表彰
 - (1) 2023年度 子どもたちの“こころを育む活動” 募集・選考
 - (2) 2023年度 子どもたちの“こころを育む活動” 表彰式

3. 広 報 関 係

- [1] 情報発信活動の拡充
- [2] 刊行物
- [3] 教育機関、学会、他団体等との連携による情報発信

■管理部門

会 議 開 催

- [1] 理事会
- [2] 評議員会

(別紙1) 2023年度(第49回)実践研究助成 助成先一覧(71件)

2023年度 事業報告

■ 事業部門

1. 学校教育に対する研究・助成事業

[1] 実践研究助成

(1) 2023年度(第49回) 実践研究助成 助成概要

目的	初等中等教育現場での実践研究への支援		
対象	小学校、中学校、義務教育学校・小中一貫校、高等学校、中等教育学校・中高一貫校、特別支援学校、在外教育施設、教育委員会・教育センター、複数校による教育研究グループ		
助成件数	71件 助成先は別紙1に掲載	※応募 223件 (倍率3.1)	※選考委員会 2023年3月2日、発表 2023年3月17日
助成金額 助成期間	総額 3750万円	<一般助成校> 50万円 × 69件	2023年4月～2024年3月 <特別研究指定校> 150万円 × 2件 2023年4月～2025年3月(2年間)

(2) 贈呈式・スタートアップセミナー

実施日	2023年5月26日(金)
実施場所	パナソニックセンター東京にて4年ぶりにリアル開催 (第2部は一部オンラインのハイブリッドで実施)
内容	<p>第1部 助成金贈呈式 (Youtubeライブ配信を使用)</p> <p>① 理事長挨拶</p> <p>② 来賓祝辞 (大臣祝辞代読)・講演 文部科学省 初等中等教育局 修学支援・教材課 武藤久慶課長</p> <p>③ 奨励状授与、助成先代表校抱負 (特別研究指定校・一般各1校)</p> <p>④ 励ましの言葉 東京工業大学 赤堀侃司 名誉教授 (選考委員長)</p> <p>⑤ 2022年度(第48回)一般の研究成果報告書表彰校と評価者とのパネルディスカッション</p> <p>第2部 スタートアップセミナー</p> <p>⑥ グループディスカッション</p> <p>56校・66名が、校種・地域毎の16グループに分かれ、専門委員(27名)も各グループに入り1年間の実践研究活動の進め方についての討議、助言を行った</p> <p>⑦ パナソニックの学校向け支援プログラムの紹介</p> <p>第3部 交流会 (自由参加で実施)</p>
参加者	<p>第1部 計135名(助成先65名、専門委員24名、来賓等24名、YouTube22名)</p> <p>第2部 計110名(助成先66名、専門委員27名、来賓等5名、Zoom:助成先10名、専門委員2名)</p> <p>第3部 計68名(助成先49名、専門委員19名)</p>

(3) 実践研究支援活動

目的	実践研究が、助成先での目標とする成果を上げられるように、また他校の参考にもなる良い事例になるように支援し、そのプロセスも適宜情報発信する	
内容	① 特別研究助成校に対するアドバイザー(専門委員)派遣 [通年]	<ul style="list-style-type: none"> ・2022年度(第48回)特別研究指定校 4校 各3回 ・2023年度(第49回)特別研究指定校 2校 各4回(事前訪問1回含む)
	② 一般助成校向け「実践研究オンラインサポート」 [通年]	<p>年初に希望校を募集。年間を通じWEBコミュニケーションを活用し、実践を進める上での課題や疑問に対し、専門委員が適時アドバイスをを行い研究推進を支援(参加校23校、専門委員8名 ※特別支援学校・支援系実践増により専門分野2名追加)</p>
	③ 報告書提出、ホームページ掲載 [通年]	<ul style="list-style-type: none"> ・一般助成校 <ul style="list-style-type: none"> スクールフォトレポート (年3回) 研究成果報告書 (年度末) ・特別研究指定校 <ul style="list-style-type: none"> 活動報告書 (年3回) 研究成果報告書 (年度末)

(4) 報告書評価(一般助成校)

目 的	一般助成の1年間の実践と成果をまとめた「研究成果報告書」を評価し、優れたものを表彰 その成果や実践の過程について、他校が参考とできるように発表の機会を作る
内 容	<p>① 2022年度一般助成の「研究成果報告書」を7名の専門委員により報告書の完成度、独自性、汎用性などの視点で評価 「優秀賞」6件、「奨励賞」7件を選定した</p> <p>② 2023年度(第49回)の助成金贈呈式の中で、表彰校を発表 併せて表彰校3校と専門委員によるパネルディスカッションを実施し、実践を進める上での「問い」のたて方、校内の巻き込み方等、贈呈式に出席している次期実践校に伝えた</p> <p>③ 成果発表に向けてのサポート 表彰校には、JAET主催の全日本教育工学研究協議会全国大会での個別の成果発表を促し、発表校へは専門委員による発表指導を実施 (個別発表校:優秀賞3校、奨励賞4校)</p>

(5) 成果事例の発信

目 的	多くの学校現場での授業改善に貢献すべく、助成先(一般・特別研究指定校)による優れた実践研究の成果を様々な手法で広く発信する
内 容	<p>① 報告書、専門委員講評を財団ホームページに掲載 ・各助成先の成果報告書をホームページで広く公開し、キーワード検索等も可能に ・特別研究指定校の活動報告や、一般助成の表彰校には、専門委員による講評も掲載</p> <p>②2021年度(第47回)特別研究指定校 成果報告会(8月3日,4日 対面+オンライン) ・2020年度～2022年度の3年間の研究を終了した1校とアドバイザー1名による研究成果発表(コロナ禍により、実践研究が1年遅れたため) ・2021年度～2022年度の2年間の研究を終了した4校とアドバイザー4名による研究成果発表 ・「関西教育ICT展」会場+オンラインで実施。双方からの質疑応答なども行った ・参加者:オンライン視聴者 94名、会場参加 216名 計 310名</p> <p>③ 全日本教育工学研究協議会全国大会・青森大会 (10月27日～28日) ・2020年度(第46回)特別研究指定校1校による個別成果発表 ・2021年度(第47回)特別研究指定校3校による個別成果発表(1校は校務のため不参加) ・2022年度(第48回)一般助成 優秀賞、奨励賞 計7校による個別成果発表</p>

(6) 2024年度(第50回) 実践研究助成 募集・選考

目 的	2024年度(第50回)実践研究助成の募集と選考
対 象	小学校、中学校、義務教育学校・小中一貫校、高等学校、中等教育学校・中高一貫校、特別支援学校、在外教育施設、教育委員会・教育センター、複数校による教育研究グループ
募集期間	2023年11月1日～2024年1月15日
選考期間	2024年1月20日～3月12日
選考件数	100件(特別研究指定校3件、一般97件)
内 容	<p>募集</p> <p>① 全国1771件の教育委員会と校長会93件へ事業案内状と募集チラシを送付 ② 助成対象の全国の公立学校約27906校の学校長宛ての募集チラシ(DM)を送付 ③ 教育専門紙3紙への募集広告掲載、全国新聞社96件の教育担当記者宛にリリース送付 ④ 在外教育機関向けには(公財)海外子女教育振興財団を通じての告知を継続 ⑤ 関西教育ICT展やJAET全国大会での募集告知、財団メルマガやSNSでの募集告知 ⑥ 実践研究助成説明セミナー 助成事業の周知にオンラインでセミナーを開催(参加69名)</p> <p>選考</p> <p>⑦ 申請数210件(特別研究指定校9件、一般201件、前年差:登録4件増、申請13件減) ※教育委員会からの登録・申請が昨年より増加(前年差:4件増) ⑧ 専門委員(56名)による申請書審査後、2月29日選考委員会、3月12日理事会にて承認 ※特別研究指定校3件、一般97件計100件採択(倍率2.1)*発表後一般1校が辞退</p> <p>*「助成WEBシステム」を更に改善して募集・選考業務の効率化を推進</p>

[2] プレゼンテーションコンクール

目 的	ICT活用した教育による児童・生徒の学びの発表の機会を提供 プレゼンスキルだけではなく、いかに深く考えをまとめ、それを表現したかを評価し、優秀者を表彰			
対 象	小学校・中学校(中等教育学校前期含む)、特別支援学校、在外教育施設 (学校1校につき2名まで応募可)			
募集内容	「人との関わりを通して、自分が変わるきっかけとなったこと」をテーマに3分間のプレゼン動画			
募集期間	2023年7月3日～10月13日			
選考期間	2023年10月～12月			
最終選考・表彰式	2023年12月9日(土) パナソニックセンター東京 ※海外はオンラインにて参加			
内 容	(募集・選考) ① メルマガ等での募集告知→(応募)小学校:10校16名(前年6名)、中学校:15校24名(前年32名) ② 応募者には、本人と学校それぞれに参加賞として1000円分の図書カードを贈呈 ③ 事前選考によって小学校の部5名、中学校の部5名の最終選考会出場者を選出 (最終選考・表彰式) ④ 事前選考で選ばれた小・中各5名が3分間のプレゼンテーションを実施 ⑤ 5名の選考委員(市川 伸一氏、篠ヶ谷 圭太氏、小林 寛子氏、福田 里香氏、小野 元之氏)による審査 ⑥ 賞状の贈呈 ⑦ 市川 伸一選考委員長より講評			
受 賞 者	賞名	小学校の部	中学校の部	副賞(賞金)
	最優秀賞	葛飾区立東金町小学校 梅原 潤	岩沼市立岩沼北中学校 佐々木 莉暖	本人:5万円 学校:5万円
	優秀賞	阿蘇市立一の宮小学校 道口 茉和	苫小牧市立苫小牧東中学校 澁谷 ゆうな	本人:3万円 学校:3万円
	奨励賞	岩沼市立岩沼小学校 櫻井 稟大朗	北海道教育大学附属函館中学校 福士 さくら	本人:1万円 学校:1万円
		学校法人SOLAN学園 瀬戸SOLAN小学校 長谷部 紗世	コロポ日本人学校 前川 歩心	
	コロポ日本人学校 大橋 由芽	テヘラン日本人学校 金沢 光夏		

*賞金は、まとめて学校口座に振込

[3] 共同研究

(1) 日本教育工学協会(JAET)との連携による発信強化

研究団体・研究者	研究課題	助成金
全日本教育工学研究協議会 東京(港区)大会 実行委員会	NEXT GIGA ～創造性を育むICTを活用した新しい時代の教育を目指して～ 大会:2024年10月25日(金)～26日(土) 期間:2023年6月～2025年3月	0円 (予算200万円)

(2) 教育委員会・教育団体・研究者等との連携による調査研究活動 ①

研究団体・研究者	研究課題	助成金
北澤 武 (東京学芸大学 教授) 他	児童生徒のエンゲージメントと1人1台端末を活用した学習方略および 教員のICT活用指導力に関する研究 期間:2023年6月～2024年3月	50万円

(2) 教育委員会・教育団体・研究者等との連携による調査研究活動 ②

研究団体・研究者	研究課題	助成金
中川 一史 (放送大学 教授)	教育の情報化授業づくりミドルリーダー養成のための 教員研修のアーカイブ化 期間:2023年6月～2024年3月	50万円

(3) 新機材活用事例の開発研究 ①

研究団体・研究者	研究課題	助成金
中島 寿宏 (北海道教育大学 教授)	北海道・札幌市における授業研究PFによるオンラインでの体育・保健体育 授業研修会システムの運用および参加者間ディスカッションの効果 期間:2023年6月～2024年3月	50万円 + システム貸与

(3) 新機材活用事例の開発研究 ②

研究団体・研究者	研究課題	助成金
新津 勝二 (愛知教育大学 理事・副学長)	新たな教員研修制度の構築に向けた動画教材の編集・配信及び現職 教員研修用教材の開発 期間:2023年6月～2024年3月	50万円 + システム貸与

2. ころを育む総合フォーラム

[1] フォーラムメンバー会議

実施日	第1回全体会議 2023年6月2日(金)
	第2回全体会議 2023年10月23日(月)
	第3回全体会議 2023年12月12日(火)
フォーラムメンバー	鷺田 清一氏、入江 杏氏、小国 綾子氏、工藤 啓氏、玄田 有史氏、鈴木 みゆき氏、高際伊都子氏、福田 里香氏、増田 明美氏、山極 壽一氏

[2] 子どもたちの“ころを育む活動” 募集・選考

(1) 2023年度 子どもたちの“ころを育む活動” 募集・選考

目的	“ころを育む活動”を募り顕彰し、その取り組みを広く発信し、活動の横展開などの一助とする			
対象	学校、NPO団体、PTA等の“ころを育む活動”を行っている団体			
募集期間	2023年7月5日(水)～9月7日(金)			
選考期間	2023年9月11日(月)～12月12日(火)			
募集・選考	① 広報：新聞社、公益事業主要ポータルサイト等に募集告知の掲載を依頼（7月5日～8月4日） ② 募集依頼：全国の小中学校校長会、教育委員会、社会福祉協議会、公民館等に募集チラシの配布、掲示を依頼（7月5日～8月4日） ③ 事前選考：事務局にて応募総数198件より30件の受賞候補活動を選定（9月11日～25日） ④ 一次選考：フォーラムメンバーにより8件の受賞候補活動を選定（一次選考会議 10月23日） ⑤ 取材：フォーラムメンバー及び事務局により受賞候補活動8件を現地取材（11月7日～23日） ⑥ 最終選考：フォーラムメンバーによる最終選考会議にて受賞活動を決定（12月12日）			
受賞先 (8件)	賞名	団体名(地域)	活動名	副賞
	全国大賞	横浜市立南吉田小学校 (神奈川県)	国籍を超えて 笑顔で結びつなげよう南吉田	賞金 50万円
	優秀賞	NPO法人にこっと秋田 多機能型ケアベースにのこ (秋田県)	「にのこに商店」 ～笑顔は続くよどこまでも～	賞金 20万円
		山形県立置賜農業高等学校 食愛プロジェクト (山形県)	愛の輪広がれ！ 置農生の子ども食堂活動	賞金 20万円
		NPO法人 四街道プレーパークどんぐりの森 (千葉県)	遊んで育つ！ ころが動くみんなの居場所	賞金 20万円
		NPO法人 プロジェクトサンタ (神奈川県横浜市)	ガチャガチャで ワクワクする時間を届けたい	賞金 20万円
		NPO法人 WeD (佐賀県)	高校生の「〇〇したい」を 応援する事業	賞金 20万円
	特別賞	ねりま笑店街実行委員会 ねりまキッズボランティア (東京都)	練馬の街を 練馬のこども達で元気にしたい！	賞金 10万円
吹田夢☆志団 (大阪府)		異年齢で学び・紡ぎ・創る 「感動舞台」!	賞金 10万円	

(2) 2023年度 子どもたちの“ころを育む活動” 表彰式

実施日	2024年2月9日(金)
実施場所	霞山会館
内容	① 来賓ご挨拶(文部科学省総合教育政策局 社会教育振興総括官八木 和広氏) ② 受賞団体発表、表彰 ③ 受賞団体から今後の抱負を発表 ④ 座長 鷺田 清一氏より祝辞 ⑤ 交流会
参加者	今年度受賞8団体 フォーラムメンバー、募集協力団体、関係団体、財団役員・評議員、協力企業等 視聴者約50名

3. 広 報 関 係

[1] 情報発信活動の拡充

ホームページ	財団の事業活動案内や助成先・表彰団体等の取組内容及び成果を発信			
	来訪者数		イベント数	
	61,068	前年比 99.5%	555,025	測定方法が変わり 前年比較できず
メールマガジン	過去に助成に応募した学校・団体や教育関係者などに対し、財団からの情報やICT教育関連の各団体等からの、各種お役立ち情報を定期的に発信			
	配信回数	49回	配信数	3,818 (年間平均配信成功数、前年10%減)

[2] 刊行物

- ・こころを育む総合フォーラム 2023年度 活動報告書（発行月：2024年3月）

[3] 教育機関、学会、他団体等との連携による情報発信

- ・日本教育工学協会(JAET)の全国大会(青森大会)で、助成校計10校が実践研究の成果を発表した。
- ・全国の教育委員会及び学校への助成事業の募集告知、あるいは社会福祉協議会、公民館連合会等への顕彰事業の募集告知通じて財団活動の内容を発信した。

■ 管理部門

会 議 開 催

[1] 理事会

第51回 理事会	(2023年5月23日)
第1号議案	「特定費用準備資金の変更の件」
第2号議案	「2022年度事業報告及び決算報告の件」
第3号議案	「2023年度事業計画に基づく共同研究の件」
第4号議案	「学校教育に対する研究・助成事業における選考委員選任の件」
第5号議案	「第13回 定時評議員会開催の件」
報告事項	「職務執行報告(2023年3月～4月)」
第52回 理事会	(2023年6月19日)
第1号議案	「理事長等選任の件」
第53回 理事会	(2023年12月21日 書面決議)
第1号議案	「こころを育む総合フォーラム 2023年度子どもたちの“こころを育む活動”受賞活動の件」
第54回 理事会	(2024年3月12日)
第1号議案	「2024年度事業計画及び収支予算の件」
第2号議案	「特定費用準備資金の設定の件」
第3号議案	「書面決議による臨時評議員会を招集する件」
第4号議案	「規定改正の件」
報告事項	「職務執行報告(2023年5月～2024年2月)」

[2] 評議員会

第13回 定時評議員会	(2023年6月19日)
第1号議案	「2022年度 事業報告及び決算承認の件」
第2号議案	「理事選任の件」
第3号議案	「監事選任の件」
第4号議案	「評議員選任の件」
報告事項	「2023年度 事業計画及び収支予算の件」
臨時評議員会	(2024年3月22日 書面決議)
第1号議案	「理事選任の件」

■ 2023年度(第49回)実践研究助成 助成先一覧(71件) ■

- 一 般 69件： 小学校 22件、 中学校 15件、 高等学校 13件、
 義務教育学校・小中一貫校/中等教育学校・中高一貫校 5件、 特別支援学校 7件、
 教育委員会・教育センター/複数校の研究者による教育研究グループ 7件
- 特別研究指定 2件： 小学校 2件

<一般 1カ年、50万円>

小学校 (22件)

都道府県	学校名	都道府県	学校名
北海道	音更町立鈴蘭小学校	東京都	杉並区立沓掛小学校
北海道	七飯町立大中山小学校	東京都	八王子市立長房小学校
宮城県	石巻市立石巻小学校	神奈川県	大井町立相和小学校
茨城県	つくば市立並木小学校	神奈川県	学校法人アトメント会 聖ヨゼフ学園小学校
茨城県	取手市立取手西小学校	石川県	学校法人北陸学院 北陸学院小学校
埼玉県	久喜市立砂原小学校	静岡県	浜松市立尾奈小学校
埼玉県	杉戸町立西小学校	三重県	国立大学法人三重大学教育学部附属小学校
埼玉県	富士見市立針ヶ谷小学校	大阪府	河内長野市立天野小学校
千葉県	市川市立大野小学校	徳島県	松茂町立喜来小学校
千葉県	山武市立松尾小学校	香川県	三木町立白山小学校
東京都	昭島市立富士見丘小学校	鹿児島県	霧島市立川原小学校

中学校 (15件)

都道府県	学校名	都道府県	学校名
北海道	旭川市立緑が丘中学校	愛知県	岡崎市立新香山中学校
北海道	学校法人国際学園 星槎もみじ中学校	三重県	松阪市立殿町中学校
茨城県	取手市立戸頭中学校	京都府	京都市立大淀中学校
群馬県	富岡市立富岡中学校	京都府	京都市立小栗栖中学校
東京都	墨田区立錦糸中学校	京都府	京都市立嘉楽中学校
東京都	世田谷区立世田谷中学校	兵庫県	加古川市立加古川中学校
新潟県	新潟市立内野中学校	熊本県	熊本市立五霊中学校
石川県	金沢市立長町中学校芳齋分校		

高等学校（13件）

都道府県	学校名	都道府県	学校名
茨城県	茨城県立竜ヶ崎第二高等学校	京都府	京都府立園部高等学校
新潟県	学校法人加茂暁星学園 加茂暁星高等学校	京都府	京都府立西舞鶴高等学校
福井県	福井県立勝山高等学校	京都府	京都府立宮津天橋高等学校
長野県	長野県須坂高等学校	兵庫県	兵庫県立東播工業高等学校
静岡県	静岡県立焼津水産高等学校	山口県	山口県立岩国工業高等学校
愛知県	学校法人日本福祉大学附属高等学校	大分県	大分県立大分舞鶴高等学校
滋賀県	滋賀県立虎姫高等学校		

義務教育学校・小中一貫校/中等教育学校・中高一貫校（5件）

都道府県	学校名	都道府県	学校名
埼玉県	学校法人立教学院 立教新座中学校・高等学校	海外	プノンペン日本人学校
宮崎県	宮崎県立五ヶ瀬中等教育学校	海外	ロッテルダム日本人学校
鹿児島県	学校法人津曲学園 鹿児島修学館中学校・高等学校		

特別支援学校（7件）

都道府県	学校名	都道府県	学校名
栃木県	栃木県立聾学校	広島県	広島県立福山特別支援学校
埼玉県	埼玉県立蓮田特別支援学校	山口県	山口県立萩総合支援学校
千葉県	国立大学法人 筑波大学附属聴覚特別支援学校	沖縄県	沖縄県立那覇みらい支援学校
東京都	国立大学法人 筑波大学附属視覚特別支援学校		

教育委員会・教育センター/複数校の研究者による教育研究グループ（7件）

都道府県	学校名	都道府県	学校名
北海道	札幌市保健体育科教育実践研究会	大阪府	東大阪市立小学校算数教育研究会
北海道	空知情報教育研究サークル つたえーる	大阪府	守口Resource room研究会
宮城県	栗原市情報教育推進委員会 栗原StuDXチーム	奈良県	国立大学法人奈良国立大学機構 奈良女子大学附属中等教育学校
神奈川県	かながわeye愛プロジェクト		

<特別研究指定校 2カ年、150万円>

都道府県	学校名	都道府県	学校名
東京都	葛飾区立東金町小学校	愛知県	LCAグループ 学校法人SOLAN学園 瀬戸SOLAN小学校

2023年度「事業報告の附属明細書」について

2023年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する“事業報告の内容を補足する重要な事項”がないので附属明細書を作成しない。

以上